

# 火災 | キャンパス内での対応

## 火災発生時(～3分)

消火は最初の3分間が最も大切といわれます。  
ただし、一般の人が消火できるのは天井に火が回る前まで、それ以上燃え上がったら危険です。



### ① 大声で知らせる 火災報知器を鳴らす

○出火した場合は、大声で「火事だー」と叫び、近くにいる人に連絡通報する。



### ② 初期消火

○消せると判断したら近くにいる人と協力して初期消火に努める。危険と感じたら無理なことはしない。  
○天井にまで火が燃え移ったら、すぐに避難する。



### ③ 素早く行動

○一度避難したらカバン・貴重品などを忘れても絶対に部屋へ取りに戻らない。  
○煙が発生したらハンカチ等を口と鼻にあて姿勢を低くして避難する。  
○服装や持ち物にこだわらずとにかく早く避難する。



### ④ 優先

○高齢者・子ども・病人・けが人・体の不自由な人を優先する。

**火災報知器が鳴ったら** その建物および隣接する建物にいる人、または目視で危険と判断される場合は、教職員の指示のもと避難をしましょう。

## 避難後は

あわてず周囲の状況を冷静に判断し、気を落ち着かせてください。



### ① 確認

○周りの友人の無事を確認する。



### ② 知らせる

○逃げ遅れた人・行方不明な人がいたら、近くの教職員又は消防隊員にすぐに知らせる。



### ③ 指示に従う

○避難場所では教職員の指示に従い勝手な行動はとらない。  
○デマには惑わされないよう注意する。